《衆生無辺誓願度》

住職　青柳真元

９日間の行脚を終えて栖雲寺に戻ってきた弟子の足裏は、ずる剥けて腫れ上がっておりました。しかしそれだけのよい体験、よい修行ができた証でありますから歩かせてよかったと感じております。謝罪が目的ではありましたが、なぜここまでの思いをさせてでも歩かせたかと言えば、それは決して根性論や忍耐修行のためではありません。自分の痛みや苦しみを人の痛み苦しみとして感じ、悩める人々に寄り添う心へと昇華させたかったからです。

今回の行脚を自分の大きな所得として今後に活かし、僧侶として自分のためだけではなく社会のため衆生のためにも同様に尽くしてもらいたい。

利他行の喜びを知り、己の人生を輝きあるものにしてもらいたいと強く願うものである。

定例坐禅会のお知らせ

☆毎月最終日曜日　午前7時～8時　坐禅

引続　8時～8時半　茶礼

天目山でしか体験することのできない禅庭の岩坐禅。
雨天時は堂内となります。　★志納金300円

地元の大学生と岩坐禅

総代交代のお知らせ

総代をお勤めいただている天目地区の三枝林氏が辞意を表明されましたので承諾し、１月１日から佐藤学氏に後任をお願いすることとしました。三枝氏におかれましては、長年の御奉仕まことにありがとうございました。

総代さんと協力し、護持発展に尽くしてまいります。

新総代名簿

総代長	三枝留夫（天目）
副総代長	佐藤　晃（塩山）
総　代	佐藤　学（天目）
総　代	三枝由則（天目）

令和４年 主な予定

4月17日	摩利支天大祭　大祈祷会
6月5日	天目山茶会
7月3日	石庭草刈り、境内清掃
7月27日	開山忌（業海本浄禅師のご命日）
8月14日	中峰忌（中峰明本禅師のご命日）
10月2日	山門大施餓鬼会
11月11～13日	宝物風入れ展・囲炉裏カフェ
11月12日	蕎麦奉納・大般若祈祷会
12月31日	除夜の鐘

＜発行者＞　臨済宗建長寺派 天目山 栖雲寺　住職 青柳真元
〒409-1201 山梨県甲州市大和町木賊122　TEL 0553-48-2797
ホームページhttp://www.tenmokusan.or.jp　または[栖雲寺]で検索

公式ホームページ　お寺の説明、行事案内など

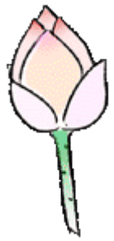
住職日単(blog)　日常をありのままに、住職日誌

Instagram　天目山の写真　*Please follow*

栖雲寺たより 天目

第３８号

発行日　令和４年１月１５日



行脚を終えて

栖雲寺徒弟　土井弘敬

師匠である真元和尚からの指導で、埼玉県秩父市まで行脚（あんぎゃ）をしてまいりましたのでご報告させていただきます。行脚は仏道修行を目的として諸国を歩くことですが、実は私のこの行脚はとても人から褒められるような行脚ではありません。令和2年の1月に栖雲寺本堂で得度をし、栖雲寺の弟子となった後に大きな不義理を働き、しばらくお寺を離れておりました。当時激励の言葉を頂戴しお世話になっておきながら期待を裏切ったお寺様に訪問できる機会をいただきましたので、謝罪をするための行脚なのです。

師匠も鎌倉建長寺での修行から戻る時には山梨まで行脚をしたと聞いておりましたので、師匠は鎌倉から山梨、私は山梨から秩父までの行脚ではありましたが、私もこの行脚は何としてでもやり遂げねばと決意を新たに出発いたしました。

いつもは車で一瞬のうちに通りすぎる道も、初めて作った履きなれない自作の草鞋で歩くとこんなにも遠いのかと実感するとともに、長く歩くに連れて足の痛みとの戦いでした。草鞋はビニール紐で編んだだけのペラペラのもので、足袋一枚を履いた上に着けただけでは薄い靴下で歩いているのと変わらない状態です。草鞋の紐と紐の間には小石が挟まり今まで経験したことのない痛みでした。とにかく今日一日の達成だけを考えて歩き続けました。

行脚も大月、上野原、相模湖、高尾、あきる野と進み4日目にもなると足の裏はずるずるに皮がめくれ、血が滲み、神経がむき出しになっているのかと感じるような痛みでした。6日目は雨が降るとの予報だったので、最後の秩父の峠越えは朝の3時から出発したのですがすぐに降りだし、足の裏は雨でふやけ、ぼろぼろになり、何度ももうだめだと思いました。しかしだめだと思うと不思議に師匠の事が頭に浮かび、自分の不義理によって師匠や自分の家族に味合わせてしまった心の痛みはこんなものではない、頑張らねばと思い何とか無事に秩父までたどり着くことができました。

4日目に参拝したあきる野市の地蔵院様では朝の坐禅会に参加させてもらいました。その坐禅会参加者の中になんと師匠の住職日単（ブログ）を見ている方がおり、そこから私が行脚していることもご存じで、歩いているところを見たという方に出会い大変驚いたとともに、応援の言葉にはすごく勇気をいただきました。福生市の福生院様では、ご住職様が昔なされた行脚の貴重な体験談を聞かせていただきとても励まされました。また謝罪にお伺いしているのに私の旅のことを気遣ってくださり有り難い気持ちでいっぱいになりました。秩父に到着すると、2年前に私が初めて祈祷会に参加させてもらった少林寺様で作務や坐禅会に参加させていただき最終的には3日間もお世話になりました。そして最後の円融寺様でも、時間をかけお話を聞かせていただきました。行脚の最後に円融寺の和尚様から「覚悟」という言葉をいただきました。なるほど私には一番足りていなかったものだと思います。

師匠の図らいによる行脚は、地蔵院様、福生院様、少林寺様、円融寺様、その他たくさんの方のおかげで成し遂げることができました。お忙しい中を私のようなもののために時間を割いていただき各御寺院の和尚様には本当に感謝しております。

私はこの行脚を通して、便利な時代に生きる中での物のありがたみをあらためて感じることができました。そして謝罪の気持ちはもちろんですが、許されるならばこの仏の道を進んで行きたいという気持ちが一層強くなりました。

今後ともご指導をよろしくお願いいたします。　合掌

十月七日に出発

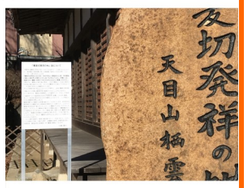
【令和3年　秋冬活動報告】

宝物風入れ展の来場者は過去最高を記録

11月12～14日で開催した宝物風入れ展は、NHK・UTYのテレビ放送や新聞各社でお知らせいただいたこともあり、3日間で600人を超える来山者でにぎわいました。

建長寺派布教師による法話大会、江戸ソバリエ神奈川の会による蕎麦奉納、お茶人さんにご協力をいただいての呈茶などでお楽しみいただきました。叶うならば蕎麦ふるまいを一番やりたいのですが、コロナ禍で2年連続断念しております。次回こそは青空の下でおもいっきりふるまいたいと強く思います。

「江戸ソバリエ神奈川の会」からは、蕎麦切発祥の地の石碑横に説明の看板を御奉納いただきました。心より感謝申し上げます。



また観光協会の『そば処食べくらべ祭』という、参加者が3店舗の食べ比べと栖雲寺では「住職カード」をゲットするというおもしろ企画も同時期に開催され、多くの参拝を得ました。

令和4年は11月11日～13日を予定しておりますのでお出かけください。

大和小学校の学習成果発表会

毎年３年生が栖雲寺で勉強したことを発表してくれます。今年も学校にお招きいただきました。今年の劇は蕎麦切発祥の地がテーマ。住職役の児童がいたり、栖雲寺の魅力を上手に伝えてくれました。

修学旅行案内

コロナ禍で行き先が変更になった小学校もあったようですが、甲州市内から修学旅行で鎌倉に来てくれた学校もあり、３校の６年生児童に建長寺の境内案内をさせてもらいました。今後は５年生までに栖雲寺で歴史学習と坐禅体験に来てもらい顔見知りとなり、６年生の修学旅行の時に建長寺で再会して境内案内。そんな流れを作っていくことが目標です。

コロナはいろいろな例外を生み、本来ならば修学旅行は栃木県の日光に行く神奈川県内の小学校の行き先が山梨県に変更になり、しかも横浜市立の某小学校はまさかの栖雲寺坐禅体験。そして参加児童の一人は私の息子と塾が同じという奇跡。これには本当に驚きました。

建長寺と栖雲寺で修学旅行生の案内と坐禅。こんな素晴らしく楽しいご縁が今後ももっと増えますように。

大菩薩峠坐禅会は延期

大菩薩峠での坐禅と、栖雲寺に戻って私が手打ちする年越し蕎麦を食す集いを12月26日に企画しておりました。募集を開始したところ、問い合わせと申し込みが相次いだため、素人が素人を引率して登山をすることに危機感を覚え、11名を超えたところで受付を締め切り少人数で決行するつもりでおりました。しかし過去最強クラスの大寒波の予報、さらには前日の朝に雪が降って大菩薩峠方面の山が白くなっていたことで残念ながら中止し、あらためて実施することとしました。

「石庭坐禅とけんちん汁と年越し蕎麦の集い」に内容を変更して行い、参加者の方にはお楽しみいただきました。時期を再度検討してリベンジ開催しますので、是非ご参加ください。

門を移設して山門に

石庭の入口にあった門を本堂正面の階段上に移設しました。

まるでこの場所に合わせて設計し新築したとも思えるジャストサイズで何の違和感もなく、とても良く映えます。この移設によって、簡素なものではありますが、山中古刹の入口にふさわしい山門となりました。

施工いただいた河野工務店様、ありがとうございました。

10月29日に完成式を行い、建長寺派前宗務総長である横浜市長昌寺の石澤彰文和尚様にくぐり初めを行っていただきました。

神鏡が奉納される

石庭東側に御鎮座される山王大権現様。そのお社に甲府市の信者加藤浩様から鏡が奉納されました。

12月の大安吉日にお社の年末大掃除をし、引き続き奉納式を執り行い、参拝者の福寿増長・無難無災・諸願成就、そして万民和楽、栖雲寺の山門繁栄等を御祈祷させていただきました。御奉納いただいた一点の曇りもないこの鏡の様に、自分の曇ったこころも坐禅をし読経をし少しずつ晴らしていかなくてはいけないと初心に帰りました。

通常は木の扉が閉まっておりますが、今後は4月の摩利支天大祭や開山忌などお寺の諸行事に合わせて御開帳し読経をさせていただく予定ですので、どうぞお参りください。

ＵＴＹテレビ山梨で紅葉の石庭を空撮

『やまなしドローン紀行』という夕方の番組で栖雲寺が取り上げられることとなり、紅葉最盛期の昨年11月11日に撮影され、今年の１月８日に放送されました。

数分間の動画ですが、紅葉の石庭坐禅が空撮されとてもきれいに映っております。ＵＴＹのホームページで動画を公開しておりますので是非ご覧ください。

やまなしドローン紀行
の動画はこちら
#42　山梨の秋vol.5

鎌倉シャツの作務着開発に協力

全国の大都市に店舗を構え、銀座やニューヨークにも出店している「メーカーズシャツ鎌倉」さんから作務衣を作りたいと相談を受け、共同開発に協力しました。拙僧もこれまでに老舗各社の作務着を着尽くした者として、世辞で良品などとは言わず何度も指摘とダメだしを繰り返し、メーカーさんも何着も作り直しを重ねて完成した作務着です。

生地は世界的デニムメーカー「カイハラ」のストレッチデニムを使用したものでかなり上質な作務着だと感じました。もし興味がありましたら鎌倉シャツのホームページからご覧ください。拙僧もモデルとして動画に出演しています。